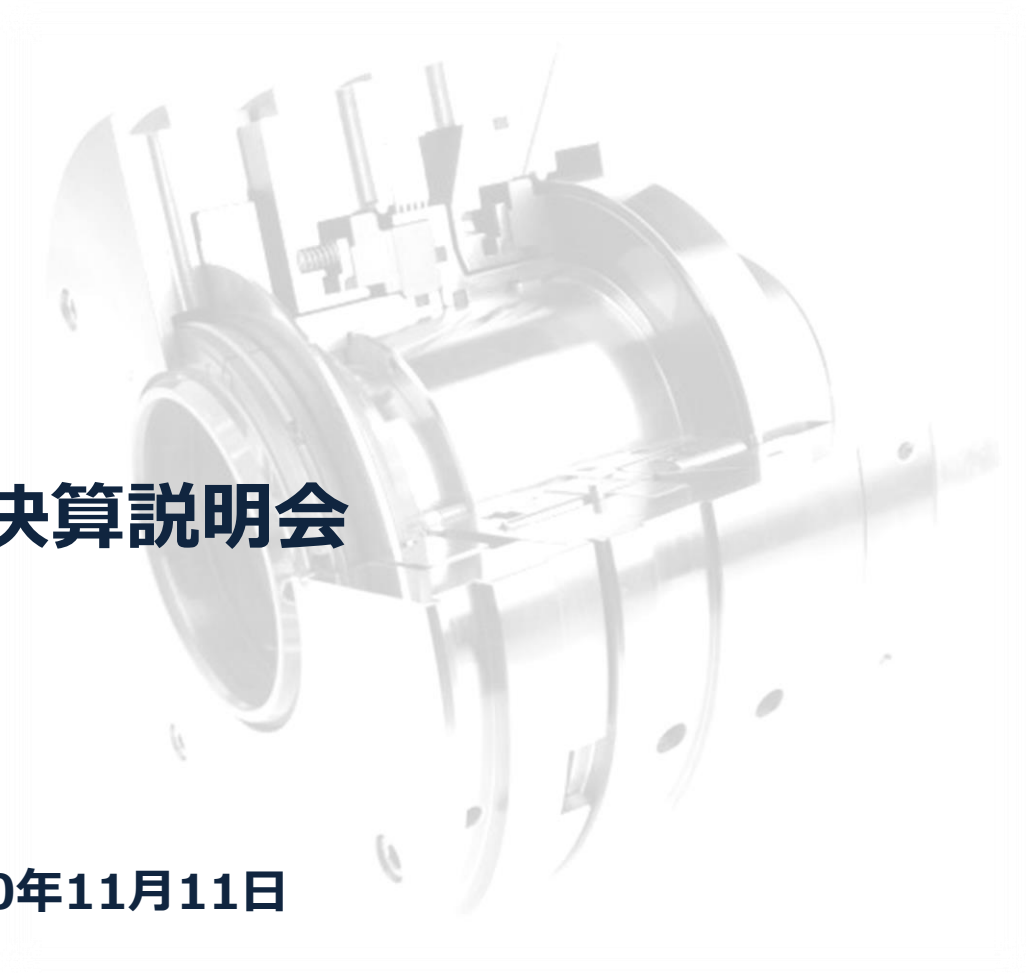


イーグル工業株式会社

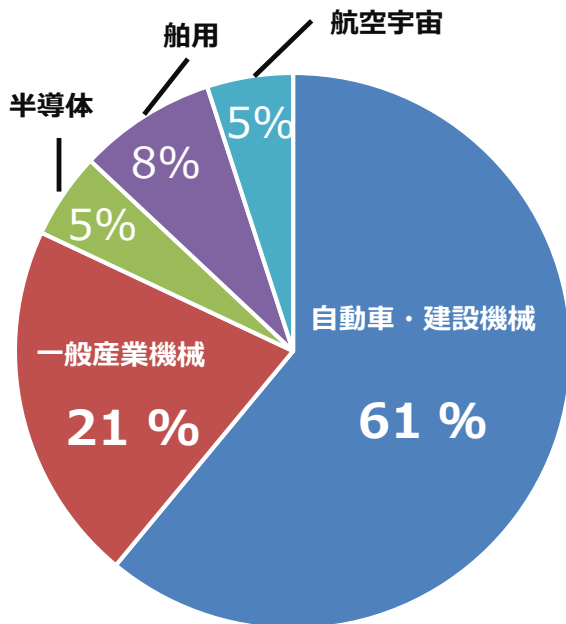
2021年3月期 | 第2四半期決算説明会

2020年11月11日



1. 21年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 21年3月期の業績予想
3. 今後の事業展開に向けた取り組み
4. 各事業セグメント・トピックス（新商品開発）

2020年3月期セグメント別販売構成



1. 2021年3月期第2四半期累計決算の概要

- 全体の約6割を占める自動車・建設機械業界向け事業の落ち込みにより前年同期比2割減
- 半導体・船用業界向け事業は当初計画通りに推移
- 今期中間配当金は予定通り25円の配当を実施

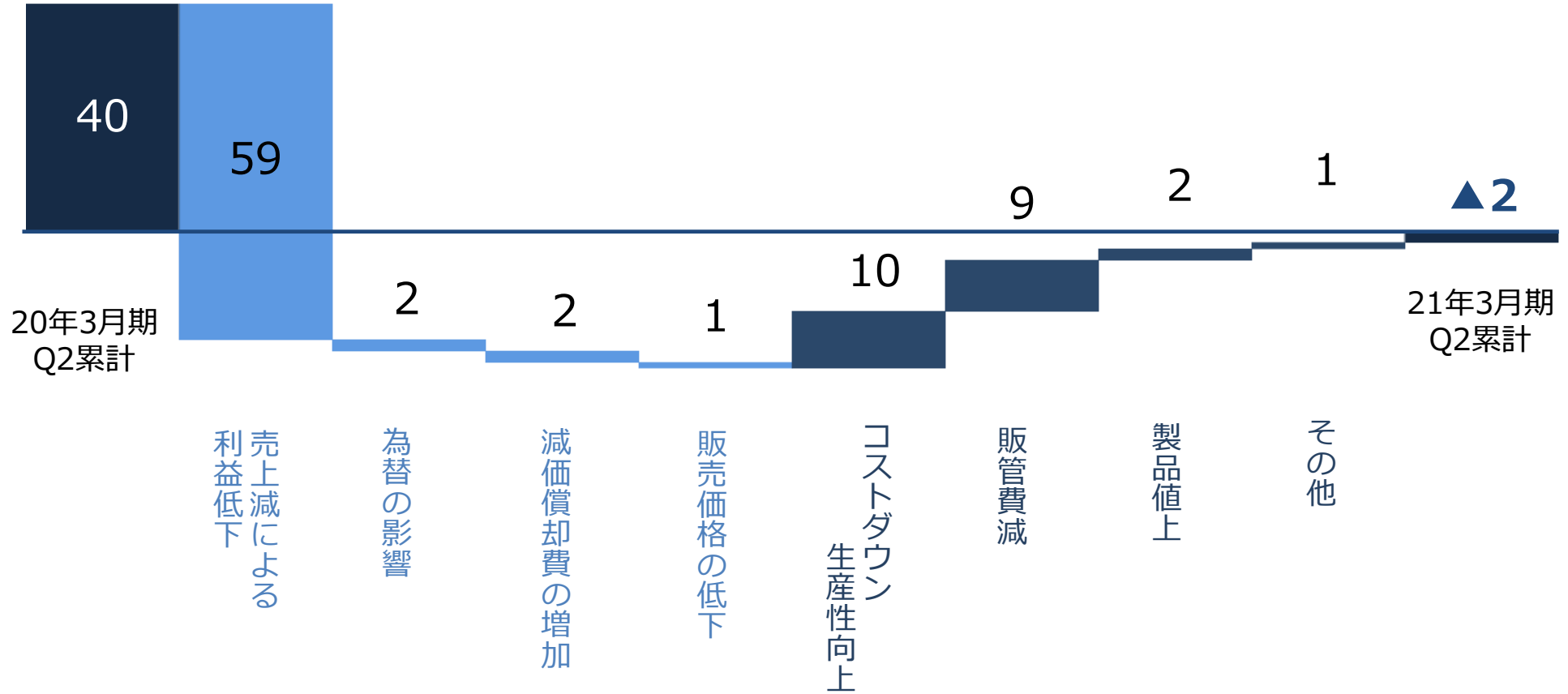
2. 2021年3月期通期業績予想

- 第1四半期決算発表時点より市況回復とコストダウン等より通期利益は黒字確保の見通し
- 安定配当の観点より期末配当金も25円を据え置き予定

単位：億円

	20年3月期Q2 実績	21年3月期Q2 実績	前年同期対比		20年度Q1時見通し 開示数値対比	
売上高	723	579	▲143	80%	9	102%
営業利益	40	▲2	▲43	—	22	—
経常利益	47	11	▲36	24%	24	—
親会社純利益	24	▲10	▲34	—	20	—

単位：億円



単位：億円

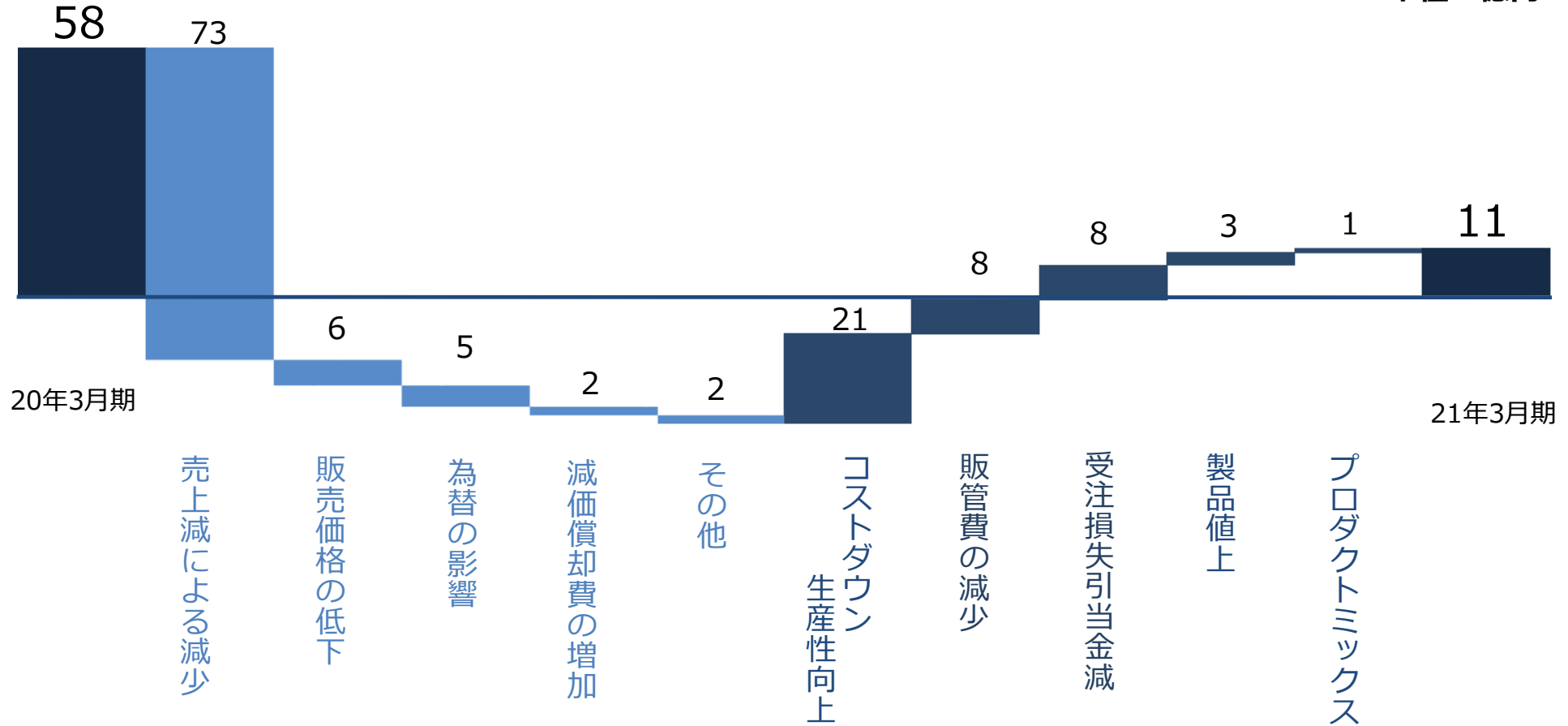
		20年3月期 Q2累計実績	21年3月期 Q2累計実績	増減	前年同期 対比
自動車・建設機械	売上高	447	321	▲127	72%
	営業利益	15	▲21	▲36	—
一般産業機械	売上高	162	130	▲32	80%
	営業利益	22	9	▲13	41%
半導体	売上高	33	41	9	126%
	営業利益	▲5	▲1	4	—
船用	売上高	53	53	0	100%
	営業利益	6	8	3	152%
航空宇宙	売上高	28	34	6	123%
	営業利益	3	2	▲1	61%
合 計	売上高	723	579	▲144	80%
	営業利益	40	▲2	▲43	—

1. 21年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 21年3月期の業績予想
3. 今後の事業展開に向けた取り組み
4. 各事業セグメント・トピックス（新商品開発）

単位：億円

	20年3月期 実績	21年3月期 業績予想	前年対比		20年度Q1時業績予想対比	
			増減	前期対比	増減	前期対比
売上高	1,421	1,241	▲180	87%	7	101%
営業利益	58	11	▲47	19%	29	—
経常利益	68	32	▲36	47%	32	—
親会社純利益	29	1	▲28	3%	35	—

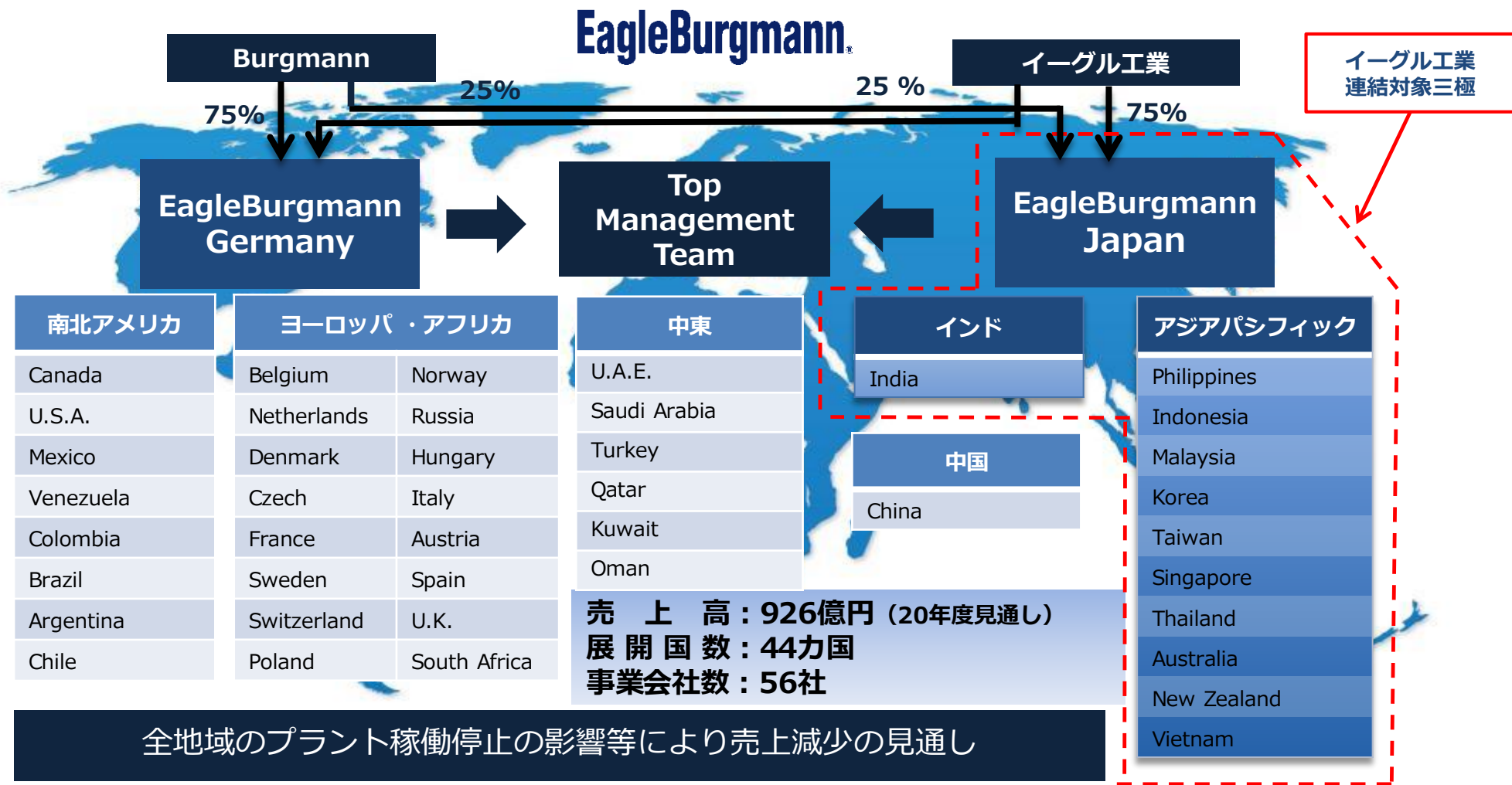
単位：億円



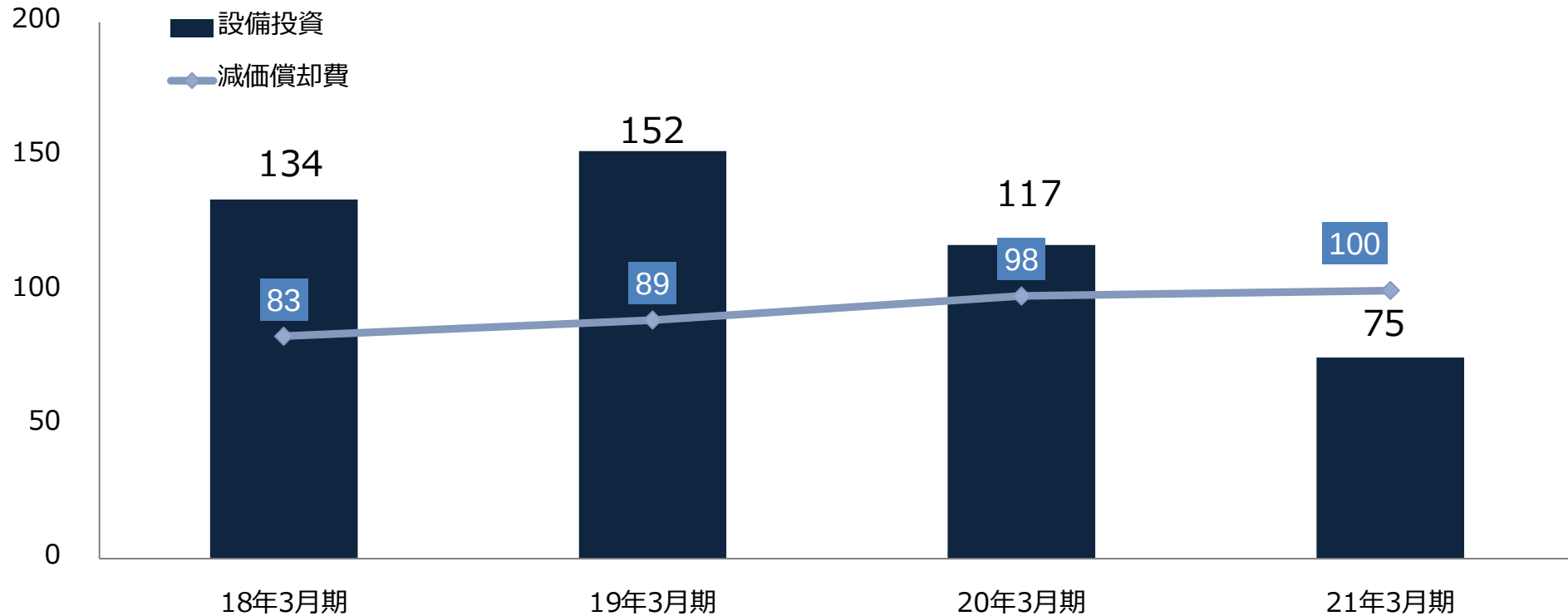
単位：億円

		20年3月期 実績	21年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	866	713	▲153	82%
	営業利益	20	▲16	▲37	—
一般産業機械	売上高	305	275	▲30	90%
	営業利益	24	15	▲10	62%
半導体	売上高	71	87	16	123%
	営業利益	▲6	0	6	—
舶用	売上高	109	104	▲5	95%
	営業利益	15	14	▲1	93%
航空宇宙	売上高	70	63	▲7	90%
	営業利益	4	1	▲3	30%
合 計	売上高	1,421	1,241	▲180	80%
	営業利益	58	11	▲47	68%

	20年3月期 実績	21年3月期 業績予想	前年対比	
			増減	前期対比
日本	422	331	▲91	78%
東南アジア	122	96	▲26	79%
中国	68	78	10	115%
欧州	164	141	▲23	86%
北米	90	67	▲23	74%
全体	866	713	▲153	82%



単位：億円



21年3月期は投資を厳選し償却費の範囲内に収める

	19年3月期	20年3月期	21年3月期
配当金 (円)	50	50	50
配当性向 (%)	34.9	84.4	—
自己資本比率 (%)	47.4	44.9	43.5
一株当たり利益 (円)	143.35	59.24	2.0
ROE (%)	8.8	3.7	0.1
ROA (%)	4.2	1.7	0.1
ROIC (%)	5.4	3.1	0.7

- ・ 今期は利益確保に向けた取り組みを進める
- ・ 配当金は安定配当の観点から今期も年間50円の計画

1. 21年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 21年3月期の業績予想
3. 今後の事業展開に向けた取り組み
4. 各事業セグメント・トピックス（新商品開発）

● 今期下期以降の取り組み

- ・ 今期は新型コロナウイルス感染拡大により、当初計画の中期経営計画は見直し役員報酬カット、コストダウン等固定費削減策を実施
- ・ 収益回復に向けた諸施策(2カ年計画)を今期中に策定し来期から展開

● 中長期的な成長を見据えた事業戦略 | ESGを考慮した経営

- ・ 取り巻く事業環境：脱炭素社会の加速により当社グループの主要市場である自動車・石油関連市場を中心に将来見通しは不透明
- ・ 当社固有技術を活かし自動車をはじめ各市場において「環境・省エネ」に資する新商品開発・顧客への新規提案を今まで以上に加速し、将来の収益確保を図る
- ・ それらの実現に向け、Digitalizationの深化、従業員満足度の向上（労災撲滅、働き方改革）、製品・サービス品質の確保に継続して注力

1. 21年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 21年3月期の業績予想
3. 今後の事業展開に向けた取り組み
4. 各事業セグメント・トピックス（新商品開発）

研究開発を進めるべき方向を示すキーワード 「環境・省エネ、それを可能にする独自技術」

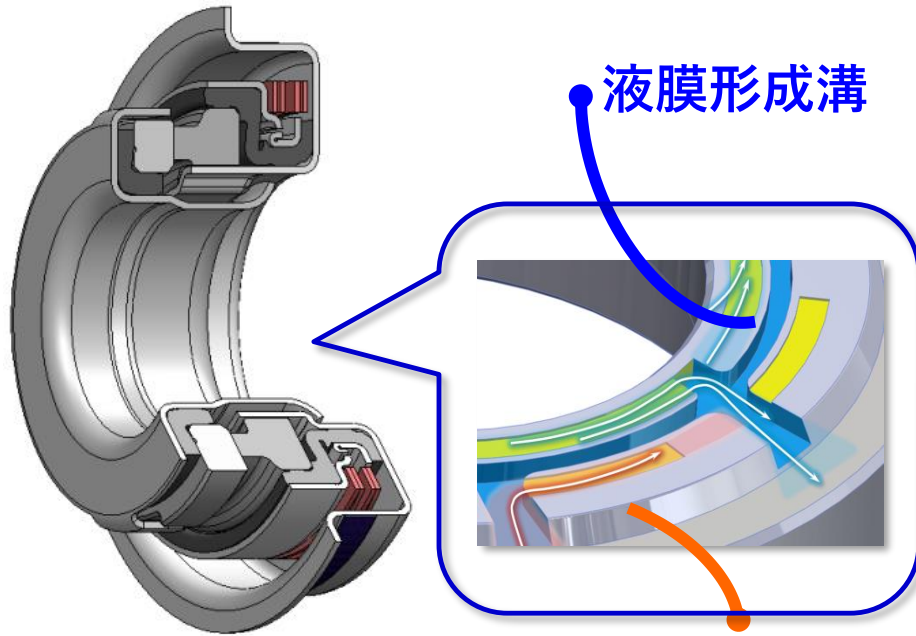
EKKコア技術

- ・ 高精度流体制御技術
- ・ 表面テクスチャリング技術
- ・ ベローズ技術



- 次世代自動車（FCV/EV）
- 油圧ハイブリッドシステム
- 水潤滑式船尾管システム
- 次世代ロケットエンジン
- 次世代エネルギー関連

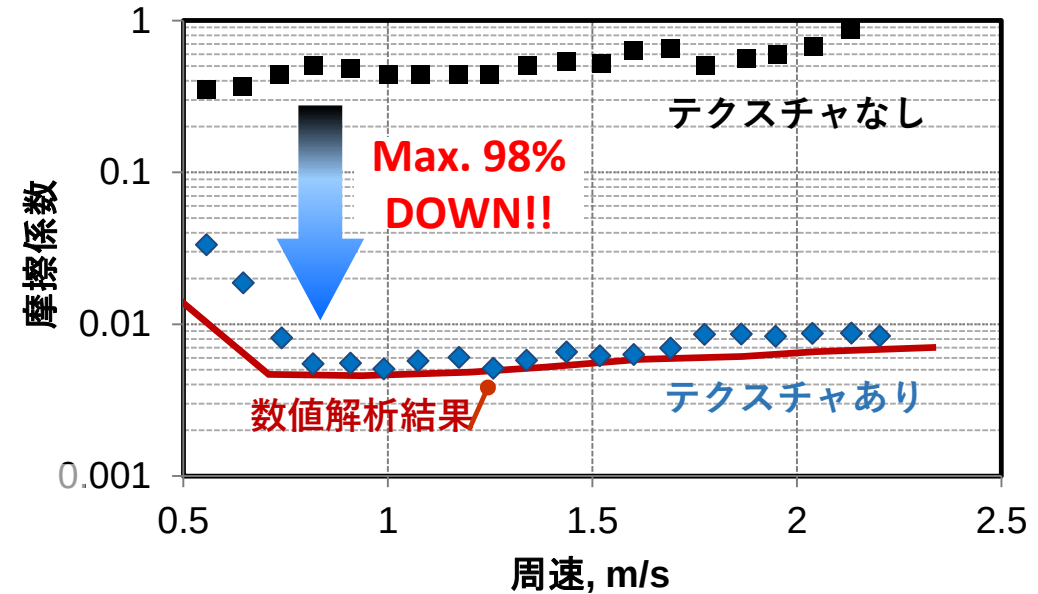
各事業において新商品開発が進行中



ATHF®

Advanced Texturing Hydrodynamic Face

トルク試験結果



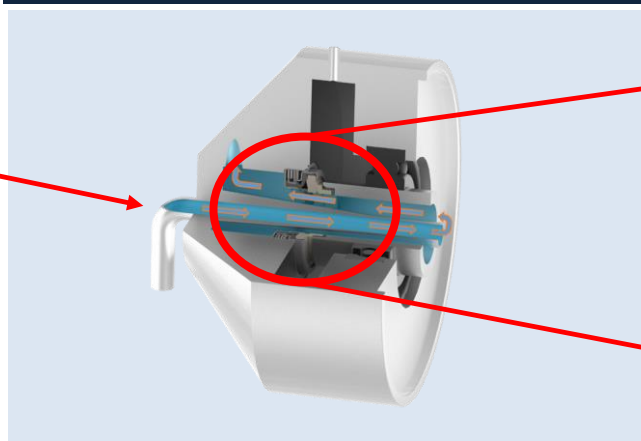
表面テクスチャリング技術により漏れを止めながら動力損失を低減することが可能

今期欧州自動車メーカーよりEVモーター用メカニカル受注決定

EV構造イメージ



EVモーター冷却システム

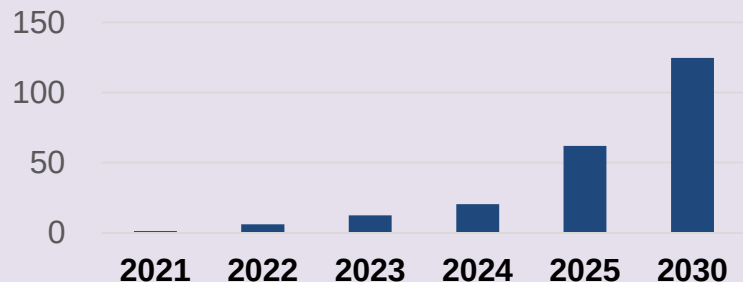


メカニカルシール



単位: 億円

EV向け製品販売見通し

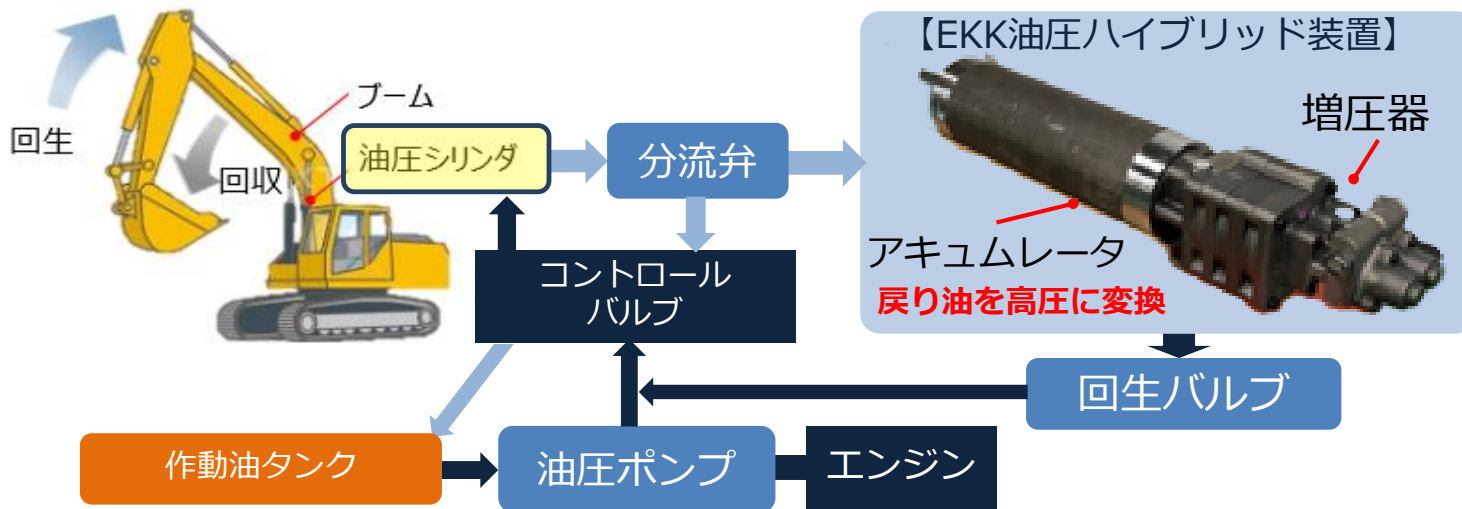


モータ発熱抑止のためシャフト側から直接冷却する冷却システムに表面テクスチャリング技術を応用したメカニカルシールが採用

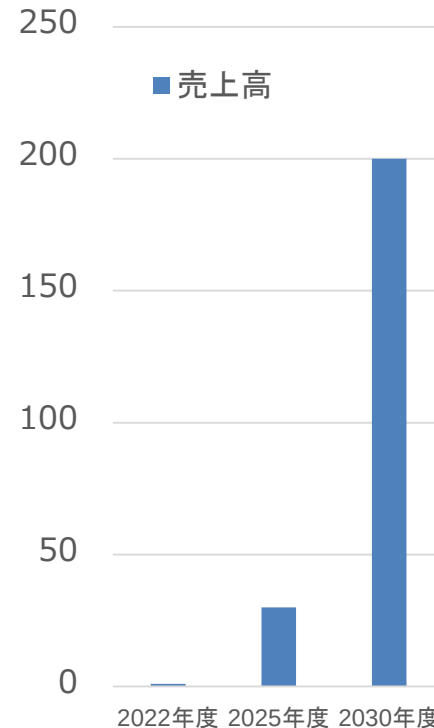
低トルク・低リーク性を両立した機能より今後も販売増加見通し

EKK油圧ハイブリッドシステムの概要

売上高：長期予測



売上高（億円）



油圧シリンダからの戻り油の一部を分流弁で回収

油圧ハイブリッド装置で戻り油を増圧し蓄液

回生バルブを通じ作動油回路に戻し油圧ポンプ出力低減

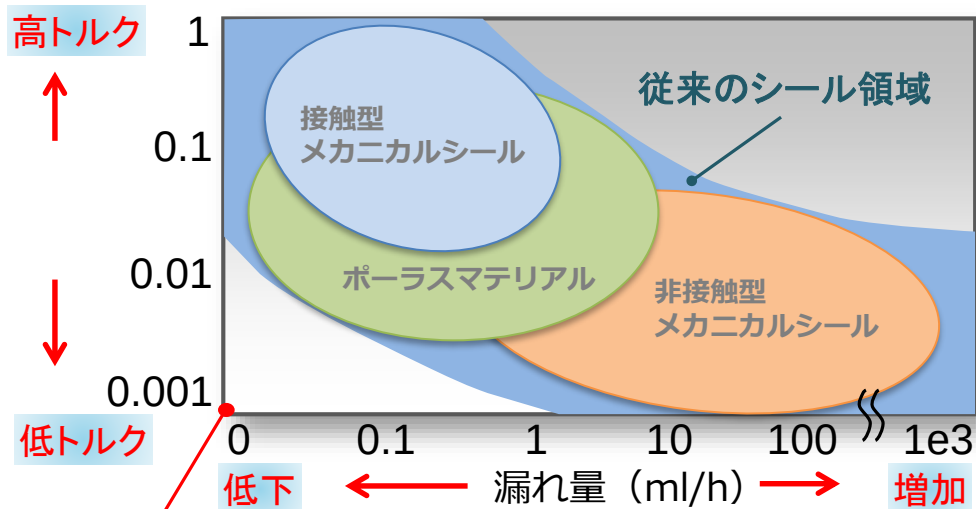
燃費低減
10%以上

建設機械の省エネ貢献システムとして実地試験・引合が継続し販売見通しも拡大中

風水力発電分野への表面テクスチャリング技術メカニカルシール応用例

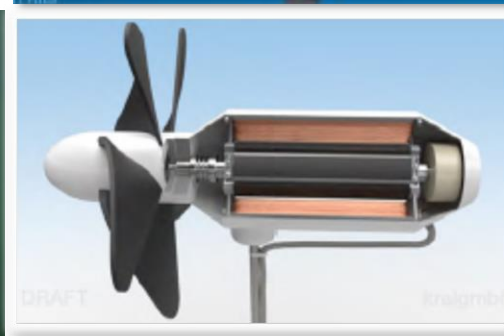
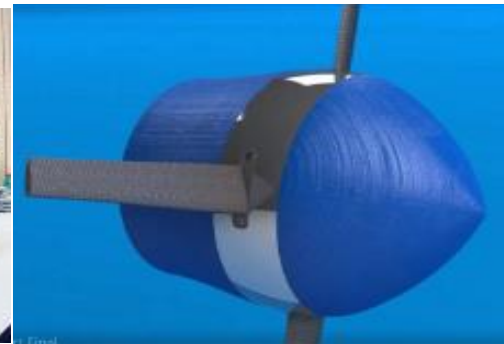
表面テクスチャリング技術の概要

トルクと漏れ量の相関図

水力発電の
シール領域

超低トルク環境でも・低漏れを実現

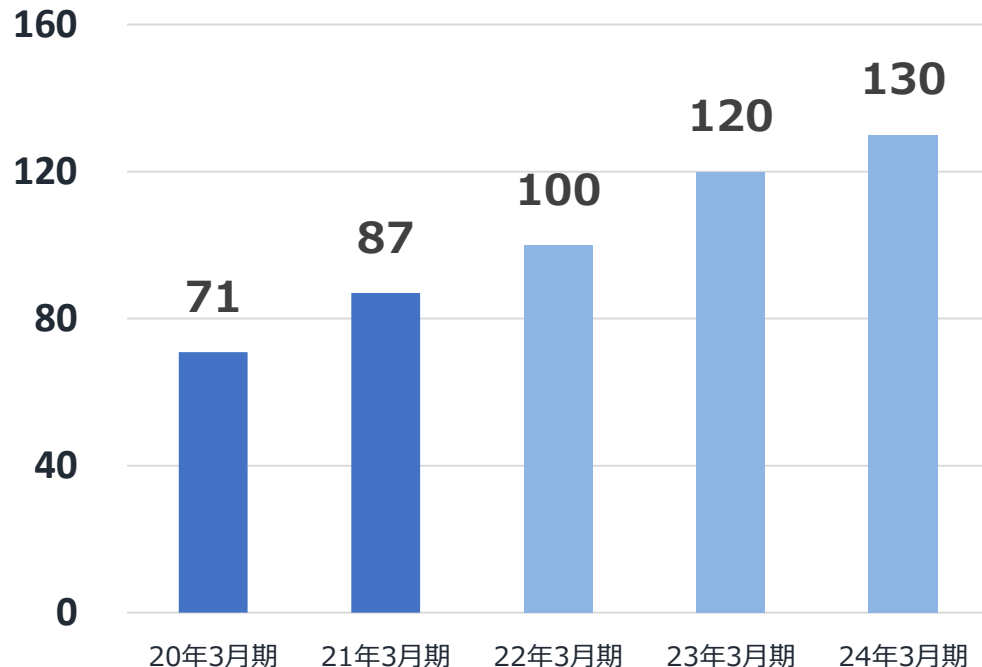
水力・風力発電



表面テクスチャリングメカニカルシールの低トルク・低リーク機能より発電効率の向上を実現
各システムでの採用と実証実験が継続中

半導体業界向け事業売上予測

売上高(億円)



EKKの半導体産業向け製品

磁性流体シール



半導体や液晶の
製造装置の真空
シール

高性能Oリング



弾力性とテフロン
耐薬性・熱安定性
を持つ合成ゴム

溶接金属ベローズ



半導体・液晶パネル
製造装置用の往復
駆動部等に使用

ロータリージョイント



半導体ウェハの
研磨やラッピング
装置等に使用

Bonded Door Seal



半導体製造装置用
ゲートバルブにゴム
を焼き付けた弁体

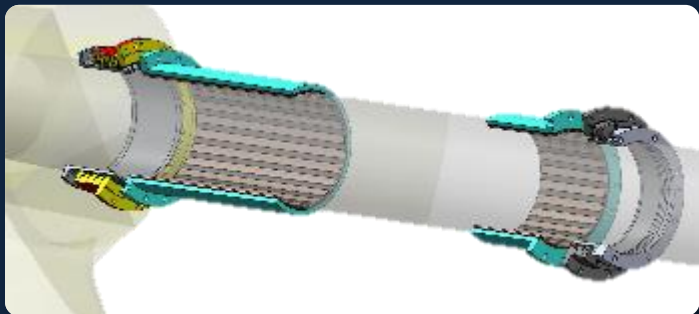
ハイブリッドシール



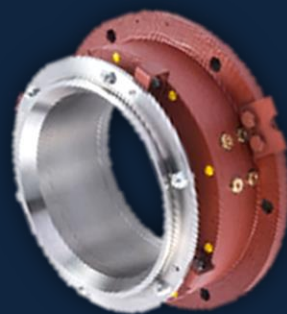
磁性流体シール、
ベローズ、
ロータリージョイント
等を組合わせたシール

足許は5G,IoTの進展に伴い来期以降も販売増加見通し

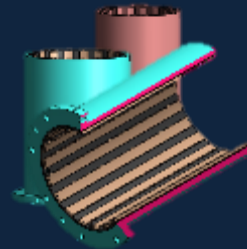
新素材の船尾管シールリング・船尾管軸受の実船試験推進中



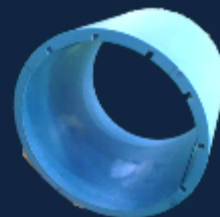
水潤滑船尾管システムイメージ図



水潤滑用船尾管シール装置



PTFE軸受



樹脂軸受

水潤滑用軸受新素材

船名：安芸丸 1,650DWT 貨物船
清水潤滑用船尾管シール装置搭載'18年6月

中大型船船尾管システムは『油潤滑』が主流

環境に優しい究極の潤滑剤『水』環境下で使用可能なシール装置、新素材の開発を推進中

試験経過良好：2022年開発完了

EKKの航空機向けエンジンシール製品



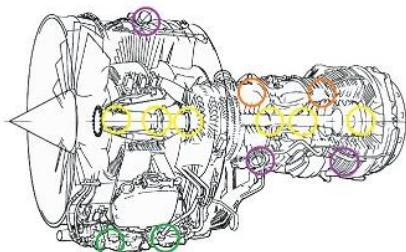
● Face Type Seals for Main-Shafts



● Segmented Seals for Main-Shafts



● Brush Seals for Main-Shafts



● ACTIFLEX® for Ducting Systems



● Gearbox and Accessory Parts



● ACTISEAL® Resilient Metallic Seals



● Precision Parts

民間航空機向け製品の動向

- ・ エンジンギアボックス用メカニカルシールの開発を継続中



表面テクスチャリング技術

エンジンの効率化・
長寿命化に貢献



2020年 5月21日 H-IIIBロケット9号機
「こうのとり」9号機打ち上げ



「こうのとり」9号機
宇宙ステーションのロボットアームによる放出位置への移動の様子



センサー、フィルター、バルブ類

2020年 8月20日
宇宙ステーション補給機「こうのとり」9号機
計画通り大気圏に再突入して最終号機の役割完了



メカニカルシール、各種シール、バルブ類



2020年 7月20日 H-IIAロケット42号機
UAE火星探査機「HOPE」打ち上げ

©JAXA



H3ロケット



再使用ロケット



月面探査機

将来予定の宇宙プロジェクト

